

2024年6月26日

第1回プロダクトガバナンス有識者会議のご報告

当社は、2024年2月に設置を公表した「プロダクトガバナンス有識者会議」^{注1}を2024年4月10日に開催いたしました。当会議は、社外の視点を採り入れ、プロダクト・ガバナンスに係る取組みの公正性をより高めることを目的としています。

当会議では、これまでの当社の「プロダクト・ガバナンスの取組み」や昨年度公表した「ファンド・レビュー・レポート2023」に対して、有識者会議メンバーより様々な視点から助言を頂きました。

頂いた助言をもとに当社は、今後より一層プロダクト・ガバナンス活動の強化やファンド・レビュー・レポートの内容の改善等に取り組んで参ります。

《プロダクトガバナンス有識者会議メンバー（3名）》（敬称略）



野尻 哲史 合同会社フィンウェル研究所 代表



藤沢 久美 株式会社国際社会経済研究所 理事長



高井 宏章 株式会社日本経済新聞社 元編集委員



《主な助言内容》

- ファンド・レビュー・レポート^{注2}が誰に向けたものかを明確にすることが重要である。
- 商品組成時に定めた内容がどの程度守られているかを確認し、改善が必要であればどのように改善するのかを明確にすることがプロダクト・ガバナンスの重要な役割である。
- ファンド・レビュー・レポートにおいて、運用を外部委託しているファンドも早期に評価の開示対象とすることが委託会社としての責任である。

※当会議のご発言要旨は以下のリンク先をご参照ください。

リンク先：<https://www.nomura-am.co.jp/product-governance/pdf/meetingsummary1.pdf>

注1 2024年2月13日付「[プロダクト・ガバナンスの一層の強化について～プロダクトガバナンス有識者会議を設置](#)」をご参照ください。

注2 ファンド・レビュー・レポートについては、当社ホームページ「[ファンド・レビュー](#)」をご参照ください。

以上